店舗管理者以外コピー厳禁
※文字量が多いので印刷の際はＡ３サイズを指定ください。

2021年度　ロス対策年間チャート全体の概念図（発表用）

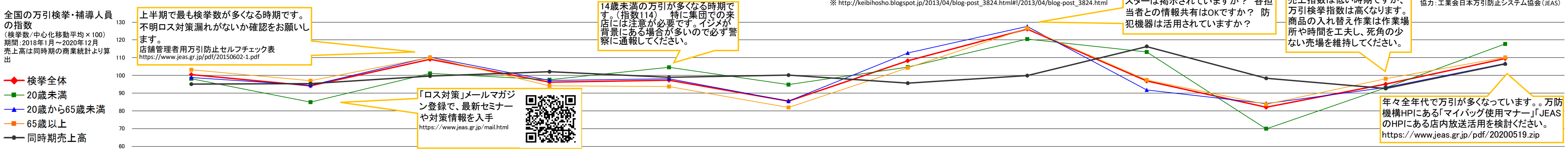
対象期間：2021年4月から2022年3月

「万引防止年間チャート制作」は【全体の概念図】です。Excelデータを受け取られた各団体や各地の万引防止協議会の皆様は、各団体・組織の状況に合わせ【全体の概念図】を修正してご活用ください。

令和3年6月15日

NPO法人　全国万引犯罪防止機構
ロス対策年間チャート制作小委員会
協力：工業会日本万引防止システム協会（JEAS）

今年度のテーマ：（例）月初にロス対策会議を実施し情報の共有化を図り、全スタッフの商品管理水準向上とハード＆ソフトの重点施策の強化で当店の不明ロス率を0.7%⇒0.35%に改善する。
今年度の目標数値：（例）衣料品の不明ロス率0.8%⇒0.3%、化粧・医薬品不明ロス率0.9%⇒0.4%、住余品の不明ロス率0.7%⇒0.4%、食品0.6%⇒0.3%に向けて、「万引対策がすすむ 10 のポイント」※を実践する。
※ http://keibihosho.blogspot.jp/2013/04/blog-post_3824.html#!/2013/04/blog-post_3824.html



項目　＼　月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会の年間行事と季節の出来事		GW用商品 **初任給での親への贈り物** ビールが売れ出す **紫外線対策商品が出回る** フレッシュマンセール	春季運動会シーズン 母の日 **園芸シーズン** 春の行楽の頃	**中元ギフト** 梅雨対策 **ボーナス商戦** 父の日 害虫・雑草対策シーズン ブライダルシーズン	土用の丑の日 **夏休み** **オリンピック** **熱中症対策商品** 海開き **氷菓子が売れる** **夏物バーゲン**	秋物衣料が動き始める **パラリンピック** 花火大会 終戦記念日 お盆の団らん 夏休みの工作・観察 推薦図書期間	秋祭りの頃 秋季運動会シーズン 敬老の日 アウトドアを楽しむ 秋の味覚が入荷 防災用品へ関心が高まる	ハロウィン 読書週間 動物愛護週間 鍋物が多くなる 体育の日 秋の園芸シーズン 文化祭シーズン	歳暮ギフトの時期 ボジョレーヌーボー解禁 インフルエンザ予防 保温性商品が売れ始める 七五三	おせちや正月用品 大掃除 **冬休み** 雪・凍結対策 胃腸薬が売れ始める **クリスマス商戦** 防寒対策商品 **ボーナス商戦**	肌乾燥用対応商品 春節のため帰省 **冬物バーゲン** 成人の日のお祝い お年玉需要 **初詣・初売り**	卒業式や謝恩会 花粉症対策 バレンタイン・デー 春物商品 受験ピーク 節分	お花見が始まる **春物のセール** **春休み** 転勤・入学などで引越し ホワイト・デー 卒業旅行 東日本大震災から十一年 ひな祭り
万引対策関係の年間行事 ※正確な認定試験の開催日は主催団体にお問い合わせください。		各地域の有志企業で窃盗団に関する情報共有の会議が開かれている 各企業で防犯担当者の会議が開かれる	防犯設備士養成認定試験（～6月末）日防設 各地で万引防止連絡会の会合が開催される	全国万引犯罪防止機構の通常総会 セキュリティプランナー認定試験（全警協） 防犯防災総合展（延期） ロック・鍵の日（9日） 工業会日本万引防止システム協会の通常総会	防犯設備士養成認定試験（～9月末）日防設 各地で万引防止のイベント未定が多い ロス対策士検定試験（万防機構） 各地で夏休み前のセーフティー教室が開催 社会を明るくする運動	防災訓練やイベント開催 セキュリティプランナー認定試験（全警協） 警察白書の発表 各地で万引防止の巡回が多くなされる	セキュリティプランナー認定試験（全警協） 推奨顔認証システム審査（JEAS）	科学保安講習（JEAS） 防犯設備士養成認定試験（～12月末）日防設 セキュリティプランナー認定試験（全警協） ロス対策士検定試験（万防機構） 全国地域安全運動の期間	全国で万引防止の研修や会議が開催される 1日は警備の日	セキュリティプランナー認定試験（全警協） 東京万引き防止官民合同会議 万引に関する全国青少年意識調査票の発送	防犯設備士養成認定試験（～3月末）日防設 セキュリティプランナー認定試験（全警協） 各組織の新年所感の発表	セキュリティコンサルタント認定試験（全警協） 昨年度の万引に関する認知件数・検挙件数の速報が警察庁より発表 ロス対策士検定試験（万防機構）	日経主催のセキュリティショー開催 全国万引被害実態調査票の発送（隔年実施）
万引される商品（群）	日常的	①食品、②化粧品(コスメ、乳液)、③衛生用品（マスク）、④サプリメント、健康食品(ダイエット)、⑤シャンプー、歯みがき粉、⑥小型家電（ドライヤー、電動ブラシ）、⑦家電製品（炊飯器、クリーナー）、⑧酒、米、タバコ、⑨スマートフォン周辺機器、⑩玩具全般（男児玩具）、⑪服飾（靴、財布、鞄）、⑫スニーカー、⑬マグボトル、⑭ペット用品											
	季節柄	①ゴルフ用品 ②財布、名刺入れ ③辞典、参考書、専門書 ④草刈機、ﾄﾗｸﾀｰ等の農機具 ⑤ケース入り5月人形 ⑥春物服飾品、雑貨 ⑦花粉症薬、ﾏｽｸ、空気清浄器 ⑧機能性マットレス ⑨眼鏡フレーム ⑩文房具	①キャンプ用品 ②スポーツシューズ ③釣具（ルアー、リール） ④園芸用品、ペット用品 ⑤日焼け止め ⑥目薬 ⑦虫除けマット、スプレー ⑧ダイエットサプリ ⑨ランドセル	①サングラス ②インナー ③マグボトル ④水着 ⑤傘 ⑥虫除けマット、スプレー ⑦日焼け止め ⑧浄水器 ⑨扇風機 ⑩盛夏用衣料	①扇風機　②浄水器　③水着 ④浴衣　⑤サングラス ⑥虫刺され、かゆみ止め薬 ⑦水虫薬　⑧虫除けマット、スプレー　⑨日焼け止め ⑩毛染め　⑪盛夏用インナー ⑫ビール　⑬うなぎ ⑭バーベキュー用食材 ⑮暑中見舞い葉書 ⑯菓子ギフトセット ⑰オリンピックグッズ	①駄菓子や氷菓子　②扇風機　③水着　④浴衣 ⑤虫刺され、かゆみ止め薬 ⑥水虫薬　⑦日焼け止め ⑧栄養剤、漢方薬 ⑨盛夏用インナー ⑩小型玩具　⑪筆記具 ⑫若者向け化粧品のケイト等 ⑬花火 ⑭パラリンピックグッズ	①秋物衣料 ②服飾小物 ③圧着工具、ハンドプレス ④羽毛布団 ⑤育毛剤 ⑥ランドセル ⑦粉ミルク ⑧眼鏡フレーム ⑨七五三セット	①ランドセル　②七五三セット　③スポーツウエア ④スーツケース ⑤秋祭り用食材 ⑥育毛剤 ⑦羽毛布団 ⑧紳士アウター ⑨暖房器具 ⑩冬物服飾(手袋、ﾏﾌﾗｰ) ⑪ハロウィングッズ	①年賀葉書 ②冬物服飾(手袋、ﾏﾌﾗｰ、ｶｼﾐ製品)　③風邪薬 ④育毛剤　⑤炊飯器 ⑥高額調理器具 ⑦理美容　⑧ランドセル ⑨自動車用品（ﾗｲﾄ・ﾊﾞﾙﾌﾞ等）　⑩羽毛布団 ⑪温感インナー、紳士インナー　⑫玩具	①高額酒類　②貴金属類 ③冬物服飾(手袋、ｶｼﾐﾔ製品)　④玩具　⑤ゲーム ⑥お菓子　⑦風邪薬 ⑧炊飯器　⑨高額調理器具 ⑩ランドセル　⑪理美容 ⑫高級食材（かまぼこ、伊達巻、ｶﾆ、すき焼き用肉、ﾏｸﾞﾛ） ⑬ウインタースポーツウェア ⑭書籍・雑誌	①財布　②手帳 ③炊飯器　④クリーナー ⑤羽毛布団　⑥ランドセル ⑦風邪薬 ⑧湿布薬、ｻﾎﾟｰﾀｰ ⑨冬物服飾(手袋、ｶｼﾐﾔ製品)　⑩スニーカー ⑪高額鍋調理器具 ⑫理美容 ⑬高級酒 ⑭ウインタースポーツウェア	①風邪薬 ②炊飯器 ③高額調理器具 ④酒類 ⑤湿布薬、サポーター ⑦3月人形 ⑧ランドセル	①入学入園スーツ ②フォーマル小物 ③高額地球儀 ④マスク ⑤空気清浄器 ⑥手帳、文房具 ⑦眼鏡フレーム ⑧子供靴 ⑨機能性マットレス ⑩新生活用（雑貨関連）
ソフト面の対策 （例）		A. 犯人の特徴が従業員全員で確認できるものを掲示板に貼り付けする。 B. 在庫（陳列）数量に配慮するようにする。 C. 万引きされやすい商品のピックアップとその通路を巡回するサイクルを決めるようにする。（警備員との協力も必要です） D. 春採用の新人スタッフに万引防止の研修を行う。 E. 窃盗団が入店した際の対応（連絡体制・呼び出し放送）を訓練しておく F. 換金対象商品をネット、フリマーアプリ、買取業者のHPでチェックする。	A. 休憩交替時の声掛けをしっかり、ハッキリするようにする。 B. 特定の商品は、開店時・日中・閉店時に在庫の確認を行っていく仕組みにする。 C. 閉店に近い時間帯で（特定の商品に関し）売場責任者と担当従業員で当日の状況確認と翌日以降の対策について話合う。 D. 商品を手に持って歩いている方には、あいさつと微笑みを。財布を商品の上に置いて歩いている場合は要注意です。特に衣料専門店。 E. 万引犯を深追いし、殺傷や交通事故に遭わないようスタッフに指導する。	A. 梅雨の時期には傘に商品を隠して万引きされることがあるので注意する。 B. 女性インナーコーナーに単独男性が長時間いる場合は一声声掛けする。（万引き防止以外の目的もあるかもしれません） C. サングラスを掛けている不審者には、あいさつなどの声掛けをする。同じく6月～9月まではマスクを付けての入店者は声掛けをする。暑苦しい時期に『マスク』を付けての来店者は要注意。 D. 3人以上のレジ待ちしないようなシフト作りとピーク時対策。 E. セール時の本社や取引先応援の方への万引防止を指導しておく。 F. 売場不規則ルート巡回	A. 学生への声掛けを夕方には必ず行うように。夏休み期間は終日行うようにする。その際は相手の顔を見るようにする。 B. 水虫薬などの夏商品を大量に陳列する際は、レジ前に置く。 C. 値札やパッケージが捨てられないように試着室内や店内出口前にゴミ箱を設置しない。 D. インショップ専門店は、混雑時スタッフが通路側に立って店内を定期的に見渡す。 E. 父の日のセール後は財布の陳列数を減らす。 F. 多言語POP掲示 https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/anzen/manbiki/relations.html	A. 棚卸前に返品や廃棄処理を済ませておく。棚卸後は、部門別・商品別の不明ロス率を確認し、その対策（分析・評価など）を協議しておく。 B. 学生の万引きが増える時期なので、ゲーム/ホビー売り場/駄菓子屋の巡回を強化する。 C. 品出し作業などをする際もお客様に声掛けを行うようにする。（あいさつ強化月間に定めている店舗もあります） D. 声掛け内容や、店舗巡回の内容（例：トイレに行く時は必ず化粧品チェック）を見直しする。（警備員を交えてください） E. 自社オリジナブランドやシリアル番号管理している商品が万引された場合、ネット転売されていないかグーグルアラートなどで検索する。	A. 従業員の交代時のタイミングに万引きが増えることがあるので隣接売場のスタッフにも協力して売場監視をする。 B. 従業員が手薄な時間帯には、警備員や管理職スタッフの巡回を徹底する。 C. 棚卸の数値を確認し、部門別・商品別の不明ロス率を確認し、その対策を協議しておく。不明ロス率を部門評価を入れることでスタッフの関心が高まる。 D. 社長、店舗開発、演出部、営業管理、警備、人事、監査を交えたロス対策会議の実施。 万引されにく売場作りの情報などの共有。 https://www.jeas.gr.jp/pdf/20140917.pdf	A. 従業員が手薄になる時間帯がある場合は、店舗巡回人員をシルバー人材センターに紹介してもらう。 B. 不審者が複数で来店した場合は、店内放送で応援を呼ぶ。（来店者にあえて分かるようする場合もあります） C. 秋採用の新人スタッフに万引防止の研修を行う。 D. 近隣同業店と不明ロスに関する情報交換を行う。他店に比べロス率が高い場合は大量万引や内部不正が発生していることが多い。	A. 不審に思ったらすぐに周り（警備員含む）に知らせ、1人で対処しないようにしている。（店長の指導力が大切） B. コートやジャンパーの袖の中に手を隠している場合は買物かごを渡す、またはあいさつを励行する。 C. 年間で万引検挙数が一番多い月であることをスタッフに説明する。 D. フィッティングルーム内で物や値札を隠されないよう、鏡裏やカーペットの下などのスキマをなくす。	A. 陳列量が増える季節なので通路を確保することで万引きされにくい環境にする。 B. 大量に商品をカートに積んでいる場合はレジの案内を行う。大型用品でも購入したことが分かる大袋などを用意する。 C. 買物カートの下段にある商品の精算モレが無いように注意する。 D. 死角に移動された商品や放置カゴがあった場合は、まだ犯人がいる可能性があるので警備員呼び出しの店内放送を流し犯行を牽制する。記録映像の確認やスタッフのヒアリングを行い今後の改善に役立てる。	A. 上着に小物商品を隠すケースが増える季節なので、買物かご利用を徹底する。 B. カートに乗せた買物かごの手前側にマイバックを入れている場合は、カートから出してもらうようお願いする。 C. 若い男性で『マスク＆キャップ』の2点セットを見たら声掛けを行う。 D. 万引常習者はいつも同じ上着や靴を身につけているケースが多い。 E. 死角に人が通るとその映像を流すモニターを設置すると抑止効果がある。（セルフレジ不正対策にも有効） F. 来期のセキュリティ対策費を予算化しておく。	A. 棚卸前に返品や廃棄処理を済ませておく。棚卸後は、部門別・商品別の不明ロス率を確認し、その対策（分析・評価など）を協議しておく。 B. 店内放送等を利用し、不審者対応をする。 C. 美容部員やメーカー販売員が退社する際は、商品を鍵のかかる場所に移動させ、責任者や警備員に連絡する。 D. 社内情報やセキュリティ情報、ユーザー等の個人情報を許可なくSNSにアップしないように指導する。	A. フォーマルスーツは上下で違うサイズが狙われないようにアンビタッチ等で留める。 B. 新人研修/新店長研修に防犯対策のカリキュラムを含める。 C. 年度末に1年間の万引被害の実績をまとめ翌年度に生かす。 D. 妖しいメールは開封しない。公共Wi-Fiをうかつに使用しないなどのネットセキュリティ教育の実施。 E. 店長の交代時にセキュリティ面の引き継ぎを実施する。
ハード面の対策 （例）		A. 換金の可能性がある商品や高額品には必ず管理タグを取り付ける。 B. 在庫（陳列）数量に配慮するようにする。 C. ボリューム陳列する時は、防犯タグをもれなく取り付け、または空箱にする。 D. 大量盗難防止のため、フック商品にストップロックを取り付ける。（機会ロスを避けるため1品はロックの手前に置く）	A. 換金性の高い商品に関しては、最小限度の在庫量で展示しモレなく管理タグを取り付ける。 B. 対策が難しい特定の商品は、倉庫在庫にしてレジ渡しにする。 C. セルフレジの不正はパブリックビューモニター（録画中POPの設置）で不正をさせない環境作りをする。	A. 高級サングラスに管理タグを使用する。 B. 夏物商品が大量に入荷する時期につき在庫が増えるため、売り場を整理整頓し通路幅が狭くならないようにする。 C. 日焼止めは店頭に陳列することが多いが、けん制効果を期待しセキュリティシステム本体の外側には置かないようにする。	A. 夏のセール前にセキュリティシステム（機器本体/解除器）の点検。 B. 本部で点検シートを準備する。 点検シート例 http://www.jeas.gr.jp/20130711.xls C. 繁忙期は管理タグの消去/取り外しモレが増加します。責任者より定期的な指導をする。（セキュリティシステム本体の電源を切らないようにしてください）	A. 資産の持ち出しや防犯画像の目的外利用（ネット等への漏えいなど）が無いよう取り扱いに十分に注意する。 B. 軽衣料品や小物には簡易のソフト管理タグやインクタグを活用する。 C. ハンガーや什器に鈴などを付け「音に従業員が気づく」手段（工夫）も一定の効果あり。	A. 秋冬物を品出しする際、タグ付け基準商品はモレなく管理タグを取り付ける。 B. レイアウト修正の際、死角が対策を考えた演出物の配置にする。死角は防犯カメラやミラーで対応する。 C. 日焼け、破れ、汚れている演出物の交換をしておく。 D. 同業店や海外の店舗のセキュリティ対策を店舗視察する。	A. 換金性の高い高額品には頑丈な管理タグの取り付け。 B. ランドセル等、特定の季節柄盗難多発商品は管理タグを取り付けたうえ、従業員の目に入りやすい位置に陳列する。 C. 店内マナーを示したPOP表示の取付け確認。「各階精算となっております」「試着室持ち込みは2点までにお願いします」「テスターは使用後元の位置にお戻しください」	A. クリスマスに向けて新商品、売り出し商品が大量に陳列されるため、管理タグの取り付け強化。 B. 管理タグにシールを貼ったり、油性ペンで色づけをしたり、店内で管理タグが発見されたときに「どのカテゴリーの商品か分かるように」する。（再発未然防止が目的） C. 什器下段の鍵付きストック場所の施錠忘れのチェックを怠りなく。	A. 高額商品には、管理タグを複数取り付ける。 B. 大量に商品をカートに積んでいる場合はレジ通過まで確認する。 C. 缶ビールやお米にも管理タグを取り付ける。 D. 万引防止放送を実施する。	A. マスクを装着している不審者は、画像確認の際は服装や持ち物も注意する。 B. カメラシステムなどの機器点検をする。特に店外と風除室のカメラは必須。 C. 掃除機や炊飯器などの大型高額商品は陳列品同士をワイヤー式センサーでガードする。 D. 死角に人が通るとその映像を流すモニターを設置すると抑止効果がある。	A. 警備員はメーカー販売員のシフト表を事前に入手しておき、手薄な時間帯の警備手段に工夫する。（巡回パターンの方法、警備室でのカメラ監視など） B. レジカウンターに設置してある緊急スイッチの点検とスタッフ全員に緊急呼び出し訓練を行っておく。	A. セキュリティシステムとカメラの連動により万引常習犯の画像を確認する。 B. カーナビなど特定商品はGケースに入れ施錠する。 C. 家電製品やスマホなどの展示品をケーブル式センサーや自鳴式タグを取り付ける。
地域と連動した対策 （例）		A. 近隣の店舗に被害内容を連絡する。（仕組みにする） B. 地域行事や学校行事の年間予定表の入手。 C. 警察HPから近隣の万引等の犯罪発生状況データを入手する。例として警視庁「事件事故発生状況マップ」	A. 巡回ボランティアや警察官にねぎらいのあいさつを行う。B. 認知症のサポートをされている専門機関（地域包括支援センターなど）との情報交換。 C.	A. 職場体験の子供たちに万引被害の実態説明と万引防止の必要性を呼びかける。 B. 近隣警察署作成の「万引き防止ポスター」を店頭及び店内に掲示する。 C. 商店街放送や全館放送で万引防止の呼びかけを行う。	A.「万引全件届出」などの万引防止キャンペーンへの積極的な参加。（本部も支援する）	A. 条例に違反して深夜に入店する青少年には帰宅するように促す。駐車場でたむろしている場合も同様。無視する場合は110番通報をする。 B. 店舗回りのごみ拾いや草むしりは近隣までさりげなく行う。	A. 地震・台風・水害への対策 B. 災害時に侵入盗や万引が増加する場合があるので防災に向けた各種情報に関心を持つようにする。 C. 児童が作成した万引防止の標語を店内に掲示すると高齢者万引の抑止になる。	A. 高齢者万引の多い店舗は、万防機構が作成した高齢者対策用のPOPを掲示する。 「ベテラン世代ポスターpdf」で検索ください。	A. 詐欺行為者や悪質なクレーマー情報を地域や業界内で共有しておく。	A. 万引対策の会合やセミナーが各地で開催される。 B. 顔認証システムを導入企業は、内外の方々へ導入理由と管理体制が説明できるようにしておく。	A. 年明け初出勤の受信メールには、詐欺・ウィルスが含まれる頻度が高いので要注意。	A. 店員向け万引対策の研修や巡回ボランティアの研修会が各地で開催される。	A. 日経主催のセキュリティショーやリテールテックが開催され、万引防止システムの機器展示や万引対策のセミナーが開催される。各社や各地域の取り組み事例が紹介される。

2021度版 ロス対策年間チャートご利用いただいた皆様へ

この1年間の万引対策まことにお疲れ様でございました。
また、2021年度版ロス対策年間をご利用いただきありがとうございました。

この年間チャートは、皆様よりお寄せいただいた情報に基にして作られております。今後さらにより良い内容にするために、皆様よりの月毎の「被害品情報」や「対策情報」をお待ちしております。

情報提供いただいた皆様には「最新のロス対策年間チャート」と「当機構の会報（万防時報）」をお送りいたします。

今後とも継続的な不明ロス対策をよろしくお願いします。

2021年5月15日

ロス対策年間チャート制作小委員会（2013年12月15日設置）
特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台1-2　書店会館　4階
TEL：03-5244-5612　FAX：03-5244-5613
問い合わせ：https://www.manboukikou.jp/contact/

士官たちの正義と信頼を基に作られたチャート（海図）の歴史秘話

近世以前にも海図はあったはずですが現存しているものはありません。それはある場所からある場所へ航海する方法を用心深く秘密にしていたためです。海図は「領土を増やすカギ」であり、「富への道」であるため門外不出の秘め事だったのです。そのため、海難事故が世界の各地で頻発し多くの船乗りたちの人命が失われ続けました。

16世紀から17世紀にかけて、東インド会社ではそれぞれ水路専門家を雇い、秘密の海図を作っていました。1795年にイギリス海軍の水路部員ダルリンプルの指導で、イギリス海軍では沿岸の測量がはじまり、こうして水路誌が生まれました。

その後、しばらくして、米国海軍海図測器廠（しょう）のモーリーが広範囲の海図作りの協力体制を提唱しようやく世界的な協力体制が築かれました。これにより各国の船の士官達が、航海日誌を積極的に送ってくれるようになったのです。モーリーはそのなかから資料を集め、整理して、海図の中に組み入れました。なお協力した航海士達にはモーリーからの心温まる礼状と海図のコピーを受け取りました。これによって海上交通が安全に早く目的地に達することが可能になったのです。米国海軍の海図には今でも「マシュー・フォンテン・モーリー中尉の調査に基づく」という銘があります。

出典：われらをめぐる海 (ハヤカワ文庫 NF (5)) 文庫 – 1977/6
レイチェル・カースン (著)

ロス対策年間チャートも多くの店舗の方々の協力によって作られております。